

事業番号	14 04 07	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	センター的機能充実事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
				課・室	特別支援教育課		
総合5か年計画	プロジェクト	8-1-4 教育再生プロジェクト		E-mail	<a href="mailto:tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp">tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp</a>		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援		実施期間	H25 ~		

1 事業の概要

目指す姿	自立活動担当教員が地域の小中学校の特別支援学級を巡回し、相談支援を行うことによって、特別支援学級に在籍する児童生徒の障害特性や教育的ニーズに応じた支援ができるように専門性の向上を図る。 理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)等の外部専門家を活用し、障害の重複化・多様化に対応したより高度な自立活動の専門性の強化を目指す。											
現状	○センター的機能に係る相談件数の状況：幼保小中高学校からの相談件数が依然多い状態が続いている。(H24 18,398件) ○小中学校特別支援学級の学級数、在籍者数の増加により特別支援学級担任の専門性の確保が難しい状況となってきた。 ○特別支援学校幼児児童生徒の障害の重複化・多様化が進み、個々の実態把握の困難さや問題行動の対応・予防等、より高度な自立活動の専門性が必要な状況となっている。											
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 学校教育法74条、特別支援学校学習指導要領 特別支援教育就学奨励費補助金(特別支援教育体制整備の推進分)					県民との協働による実施：検討中					
事業内容	① 成果目標(H26)											
	○各特別支援学校の自立活動担当教員が地域の小中学校120校(全県)に対して巡回相談支援を行う。 ○外部専門家派遣回数数をH25～27年度130回に向け、H26年度46回実施。											
	② 事業内容 (単位:千円)											
		項目	実施方法	H26実施内容		H25 (当初)	H26 (要求)	(予算案)				
	自立活動巡回支援事業	直接	・自立活動担当教員による地域の小中学校の特別支援学級への巡回相談支援。		0	2,520						
	特別支援学校外部専門家派遣事業	直接	・外部専門家を各特別支援学校18校に派遣し、児童生徒の自立活動の指導充実を図る。 対象となる外部専門家:理学療法士(PT)作業療法士(OT)言語聴覚士(ST)等		792	1,096						
	合計				792	3,616	0					
事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26		H27 目標
		当初予算			792	3,616	目標			成果	達成状況	
		補正予算						巡回支援の 対象校数				
		合計(A)	0	0	792	3,616	0	外部専門家 派遣回数	38回	46回		
	Aの 財源	国庫支出金			263	1,205						
		県債										
		その他( )										
		一般財源	0	0	529	2,411	0					
	決算額(B)											
概算 人件費	職員数(人)			0.20	0.20							
	概算人件費(C)	0	0	1,652	1,652	0						
概算事業費(B(A)+C)	0	0	2,444	5,268	0							
指摘事項等への対応	(指摘事項等)					(対応)						
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善												
要求からの主な変更点												